

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年8月28日(2014.8.28)

【公開番号】特開2013-38626(P2013-38626A)

【公開日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-009

【出願番号】特願2011-173619(P2011-173619)

【国際特許分類】

H 04 N 5/238 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/238 Z

G 03 B 21/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月11日(2014.7.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被写体を撮像する像素子と、

赤外領域の透過率が可視光領域の透過率より高い光学フィルターと、

可視光領域の透過率が前記光学フィルターの前記可視光領域の透過率より高い可視光透過部材と、

前記像素子に入射する光の光路上に前記光学フィルターを配置する第1状態と前記光路上に前記可視光透過部材を配置する第2状態とを切り替える切替部と、  
を備えることを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

請求項1に記載の撮像装置であって、

前記被写体からの光を前記像素子に結像させる撮像レンズをさらに備え、

前記第1状態および前記第2状態において、前記光学フィルターおよび前記可視光透過部材は、前記像素子と前記撮像レンズとの間へ挿入されることを特徴とする撮像装置。

【請求項3】

請求項2に記載の撮像装置であって、

前記切替部は、

前記光学フィルターおよび前記可視光透過部材を保持し、前記像素子の光軸に沿う方向に延出する中心軸を中心とする回転により前記第1状態と前記第2状態とが切り替えられる可動部材と、

前記可動部材を回転可能に支持するベース部材と、

前記可動部材を回転させる駆動部と、

を備えることを特徴とする撮像装置。

【請求項4】

請求項3に記載の撮像装置であって、

前記駆動部は、回転運動または直進運動を利用して前記可動部材を回転させることを特徴とする撮像装置。

【請求項5】

光源から射出された光を画像情報に応じて変調して投写する投写部と、  
前記投写部から射出された光が投影される投写面を撮像する請求項1～請求項4のいずれか一項に記載の撮像装置と、  
を備えることを特徴とするプロジェクター。